

2009年10月23日
郵便局株式会社 四国支社

オリジナルフレーム切手『金刀比羅宮 表書院 虎の間 遊虎図 (重要文化財) 円山応挙 作』の販売と贈呈式の開催について

郵便局株式会社 四国支社（松山市宮田町8-5、支社長 保井成之）は、下記のオリジナルフレーム切手を販売します。

このオリジナルフレーム切手は、「金刀比羅宮 表書院 虎の間 遊虎図（重要文化財）円山応挙 作」を題材としたもので、香川県内の郵便局（189局）で限定販売するものです。

また、同切手の販売を記念して贈呈式を開催します。

記

1 切手の概要

名 称	オリジナルフレーム切手 「金刀比羅宮 表書院 虎の間 遊虎図（重要文化財） 円山応挙 作」
販売期間	2009年10月29日（木）～2010年4月30日（金）
販売部数	2,500部
販売郵便局	香川県内の全郵便局（計189局） ※簡易郵便局では販売いたしません
シート構成	1シート 50円切手×10枚
販売単位	シート単位で販売します。
販売価格	1シート 900円

2 切手デザイン

別添のとおり

3 その他

本フレーム切手は、通信販売を行いません。販売郵便局等でお買い求めください。

4 贈呈式の内容

実施日時	2009年10月28日（水）13:00～
場 所	金刀比羅宮 表書院 虎の間
受 贈	金刀比羅宮 様
贈 呈	郵便局株式会社 四国支社長 保井 成之（やすい しげゆき）

以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

郵便局株式会社四国支社企画部（総務担当）
電話：（直通）089-936-5121
（FAX）089-945-6821

【お客さまのお問い合わせ先】

郵便局株式会社四国支社営業本部（郵便・物販担当）
電話：（直通）089-936-5406



金刀比羅宮

ŌKYO



「水呑みの虎」

金刀比羅宮 表書院 虎の間
遊虎図(重要文化財) 円山応挙 作

金刀比羅宮の表書院には円山応挙の手による、99図の障壁画があります。円山応挙は狩野派を学んだ後中国の古画や明や清の絵画の写実技法を研究、写生を重視しながらも伝統的な装飾技法を融合させた様式を生み出し、円山派の開祖になりました。表書院の虎の間にある遊虎図は天明7年(1787)円山応挙53歳の時の秀作です。中でも特に「水呑みの虎」は名高く表書院の代表的な作品です。表書院は建物と円山応挙の作品すべてが重要文化財に指定されています。



表書院 虎の間



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

©発行所株式会社郵政

